

第3学年 社会科学習指導案

平成30年11月19日(月) 5校時

大田区立萩中小学校

第3学年2組 24名

授業者 見目 純一

1 小単元名 「わたしたちの暮らしと工場」(8時間)

2 小単元の目標と観点別評価規準

(1) 小単元の目標

◎区内の工場の仕事について、見学・調査したり資料で調べたりして、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、適切に表現することを通して、生産の仕事は、自分たちの生活と密接な関わりがあることが分かる。

○区内の工場の仕事について、学習問題を主体的に調べ、解決しようとする。

(2) 小単元の観点別評価規準

評価の観点	評価規準
知識及び技能	①地域の工場の分布や特徴について理解する。[1] ②機械工場の生産工程を調べたり、工場で働く人にインタビューしたりすることで、必要な情報を集めることができる。[4][5] ③調べたことをパンフレットにまとめている。[6] ④工場を見学したり、資料を読み取ったりすることを通して、機械工場の仕事の様子を捉え、自分たちの生活との関わりを理解する。[7]
思考・判断・表現	①学習したことをもとに、地域の機械工場で働く人々の工夫を伝えるパンフレット作りを通して、工場と自分たちの生活との関わりについて考えようとしている。[8]
社会的事象に主体的に関わろうとする態度	①地域の機械工場の生産の工夫について学習問題を捉え、予想や学習計画を立てている。[2] ②地域の機械工場の生産方法に関心を持ち、主体的に学習問題を解決しようとする。[3]

3 小単元について

(1) 学習指導要領との関連

本小単元は、第3学年の内容(2)ア・イに基づいて設定した。

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追及・解決する活動を通して、次の事項を身に付けられるよう指導する。

ア 知識及び技能

(ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 思考力、判断力、表現力

(ア) 仕事の種類や生産の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々との生活との関連を考え表現すること。

ここでは地域の人々の生産や販売について学習する際に、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える手掛かりとして、地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを調べる対象として挙げている。見学や調査、作業的な活動などを取り入れて具体的調べる。また、工場の様子を観察したり仕事に携わっている人から話を聞いたりする活動を通して、生産や販売の仕事の工夫と自分たちの生活とのかかわりについて気付くようにしていく。

(2) 教材について

大田区では、現在、工場の数が3000軒ほどあり、東京都で工場の数が一番多い都市である。また、従業員の数が1～9人の工場が8割に上るなど、零細企業が多い。中でも、生産用機械器具製品・金属製品・はん用機械器具製品など、機械金属加工の工場が多くを占めている。学区には工場がほとんど存在しないが、すぐ隣の学区や、児童の最寄り駅の近くには工場が多くある。本小単元で理解すべき内容である「生産活動と自分たちの生活の関わり」につなげやすいと考える。

大田区は、江戸時代は海苔の養殖、加工が盛んであったが、関東大震災以降、都市部にあった工場が沿岸部の大田区に工場を移転する企業が増えた。また、東京オリンピックで湾岸整備を行うようになると、海苔の漁業権放棄をせざるを得なくなり、大きな海苔干し場に工場がさらに集まるようになった。昭和60年代以降は、高技術で多種少量、短納期でできることをアピールし、海外生産との差別化を図り、発展してきた。しかし、近年の工場数は最盛期の半分以下に落ち込んできている。

今回取り扱う工場は、鳴島工業(株)という、学校の最寄り駅である大鳥居駅の北側にある工場である。この工場では、エレベーターのカゴのバランスをとるために必要な、エレベーターのおもり枠を制作している会社である。エレベーターには必要な製品で、エレベーターの生産大手が作る時に、自社生産のみでは、関連部品が間に合わない事から、下請け工場として発展している。この工場も技術力で勝負しているため、国内だけでなく世界からの評価も高い。また、リニアモーターカー建設にあたり、5kmごとにエレベーターを作らないといけない関係で特需を迎えているという。有名な出荷先は、スカイツリー、あべのハルカス、虎ノ門ヒルズ、ドバイのブルジュハリファ等多数である。

生産方法としては、鉄板を切断、穴あけを行い、プレスブレーキとよばれる器具で折り曲げをする。その後、溶接をし、さび止めをして、ボルトで組み立てを行い完成する。月産250個を10人で作り上げる。会社自体は26名在籍しているが、生産者は10名とのことであった。

また、鳴島工業の周辺は準工業地帯になっており、時間に関係なく物づくりをすることが認められている地域となっている。しかし近年、鳴島工業周辺にあった工場は閉鎖され、マンションがたくさん建設されるようになった。そのため、作業時間を午前8時から午後7時までと工場に独自に設定しているとのことである。また、年に2回、騒音、照度、有機溶剤、粉じんの測定を独自に行っているという話もあった。住宅街にある工場ならではの配慮があり、地域と共存できていると考えられる。

鳴島工業で働いている人の半分が、工場の近くに住んでいて、自転車通勤をしている。近くの工業高校と連携している関係もあり、地元の人が多いとのことである。

今回、エレベーターの部品工場をクローズアップし、自分たちの町の工場の特徴をまとめ、生産者の工夫や願いについても関心をもって調べられるようにしていきたい。大田区の工場で働く人々のものづくりに対する熱い気持ちを感じ取り、区内の生産活動について誇りに思う心情が育まれることを願っている。

(3) 児童の実態

省略

4 教材構造図

① 社会的事象の見方・考え方（視点や方法）を位置づけた教材構造図

新学習指導要領

第3学年内容（2）

地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

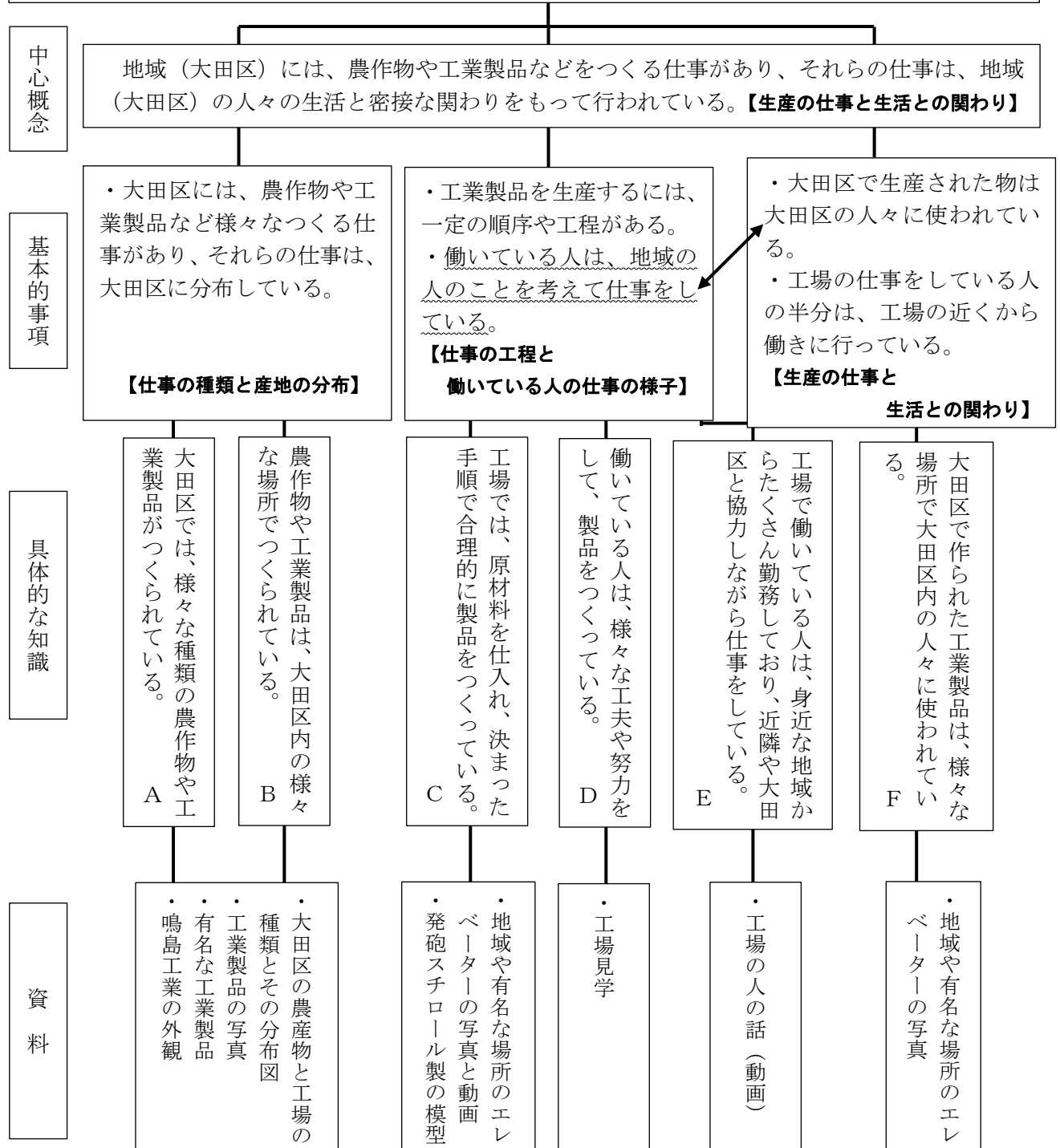
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

（ア）生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

（ウ）見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。



②社会的事象の見方・考え方（視点や方法）を働かす「問いの構成」

【本小单元において目指す児童像】

■工場の仕事は、大田区の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解する。 〈知識〉
■地図で大田区の工場の分布を読み取ったり、工場見学で工場の人にインタビューしたりする。 〈技能〉
■工場の工程などに着目して、工場で働いている人々の仕事の様子を捉え、大田区の人々の生活との関連を考え、表現する 〈思考力、判断力、表現力〉

課程	時	問い	視点・方法	具体的な知識	資料
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区ではどんなものが作られているのだろう。 ○大田区の工場では、どんなものを作っているのだろう。 ・学校の近くには、どこに工場があるのかな。 ・大田区には有名な工場があるのかな。 	【仕事の種類】 【産地の分布】 〈比較〉	A B	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の農産物と工場の分布図 ・工業製品の写真
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大鳥居駅の北側では、何を作っているのかな。 ・鳴島工業が作っているエレベーターはどんなところにあるのかな。 ・エレベーターはどうやってつくるのかな。 ◎鳴島工業の人は、どのようにして、町の中で世界に通用するエレベーターの部品をつくっているのだろうか。 	【工場の分布】 【生活との関わり】 〈関連〉	C	<ul style="list-style-type: none"> ・google earthで工場の位置を示す。 ・スケルトンエレベーターの写真と動画 ・発砲スチロール製の模型 ・有名な場所のエレベーターの写真
	3	(学習問題に対する予想と学習計画づくり)			
調べる	4・5	<ul style="list-style-type: none"> ○鳴島工業では、どのようにしておもり枠を作っているのだろう。 ・工夫していることはどんなことかな。 ・大変だと思うことはどんなことかな。 ・なぜ世界で使われる製品を作ることができるのかな。 	【仕事の工程】 【生産に携わっている人々の仕事の様子】 〈関連・総合〉	C D	<ul style="list-style-type: none"> ・工場見学
	6	○おもり枠を作る工場では、どのような工夫をしていたらう。			
	7	○工場で働く人は、どのような思いや願いをもって作っているのだろう。	【生産に携わっている人々の仕事の様子】 〈関連・総合〉	E	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の人々の話(動画)
まとめる	8	◎鳴島工業の人は、どのようにして、町の中で世界に通用するエレベーターの部品をつくっているのだろうか。	【生産の仕事と生活との関わり】 〈関連・総合〉	F	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で書いた、今までのワークシート(パンフレット) ・鳴島工業で作られたエレベーターの部品やおもり枠の写真

5 研究主題との関連

自分たちの地域の良さを見つけ、よりよい地域にしたいと願う子供の育成
～地域の社会的な事象から問いを見出し、すすんで調べる子供の育成～

全体主題を受けて、学習指導要領第3学年の目標である「思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う」ことを目指して、本研究主題を設定した。

本小單元における具体的な手立ては以下の通りである。

指導の工夫

①社会生活について理解を深め、社会との関わりを見つめ直す教材の開発

- ・時間的な視点の教材
- ・実社会とつながる教材
- ・相互関係的な視点の教材

②社会的事象の見方・考え方を働かせる指導の工夫

- ・時間の変化から問いを見出す指導の工夫
- ・対話的に学び、多角的に考えるための工夫
- ・学びの振り返りから社会認識を深める工夫
- ・問題解決的な中で対話的に学ぶための工夫
- ・思いや願いを表現できるようにするための工夫

①、②については、学習過程毎に以下のように考えた。

	目指す子供像の具体的な姿と見取りの方法	見方・考え方を働かせる「問い」	教材の工夫	学習活動などの指導法の工夫
つかむ	生産に関わる仕事に関心をもち、鳴島工業について疑問に思ったことや調べてみたいことを表現できる子 →ワークシート・発言	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の工場で作っているものはどのようなものがあるのだろう。 【仕事の種類、生産の分布】 ・鳴島工業の人は、どのようにして、世界に通用するエレベーターの部品を作っているのだろう。 【生産に携わっている人々の仕事の様子】 	<ul style="list-style-type: none"> ○農家と工場の件数の比較する教材 ・現在の大田区の農家と工場の件数マップ ・google earthで工場と周辺を写す。 ○実社会とつながる教材 ・鳴島工業に関わる写真・動画（スカイツリーエレベーター、エレベーターの部品など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○農家と工場の分布の比較から問いを見出す指導の工夫 ・2つの地図を比べることで、工場がとて多いことに気付かせるための工夫 ○学びの振り返りから、社会認識を深める工夫 ・一人一人の学習問題の予想を観点別に分類し調べる段階の学習計画につなげる。
調べる	鳴島工業で見学・インタビューしたこと、調べたことなどから、生産に関わる人の工夫や努力について表現できる子 →工場見学カード・ワークシート・発言	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴島工業ではどのようにして、おもり枠を作っているのだろう。 【仕事の工程】 ・おもり枠はどのような手順で作っているのだろう。 【仕事の工程】 ・工場で働く人は、どのような思いや願いをもって作っているのだろうか。 【生産の仕事の様子・協力関係】 【地域の人々との生活の関連】 	<ul style="list-style-type: none"> ○実社会とつながる教材 ・鳴島工業 ・おもり枠の生産工程 ・工場の人の話 ○ビデオレター <内容> ・工場の人が周りに住んでいる人々に気をつけていること。 ・どのような思いや願いをもって作っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決的な中で対話的に学ぶための工夫 ・鳴島工業で見学したことについて、話し合いを通して、学習計画の予想を観点別に分類しながら解決していく。 ○学びの振り返りから、社会認識を深める工夫 ・今までに学習したことを掲示に残し、それをもとに新たな事実について考えられるようにする。 ○地域と共存して街中に工場が立地できる理由について、ビデオレターから知り、地域の人々の密接な関わりについて考えられるようにする。

ま と め る	大田区の生産の仕事に関わる人々の働きや願いに気づき、地域社会に対する親しみをもとうとする子 →発言・ワークシート	・鳴島工業の人は、どのようにして、世界に通用するエレベーターの部品を作っているのだろう。 【生産に携わっている人々の仕事の様子】	/	○思いや願いを表現できるようにするための工夫 ・パンフレットのまとめの文章やキャッチコピーで工場に携わる人々への思いに触れられるようにする。
------------------	---	---	---	---

③児童に育成させる資質・能力の評価方法の工夫

- ・工場の人々の工夫や願いを表現する活動

工場の仕事の様子について学習したことを、毎時間ワークシートに記入し、パンフレットのページを増やしていく。最終的に、工場の魅力をキャッチフレーズにして表紙に記入し完成させる。本単元の学習を一冊のパンフレットにまとめることで、個々の理解状況や思考を見取れるようにした。

6 小単元の指導計画と評価規準（8時間扱い）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動、 問 問 ・予想される児童の反応	教師の指導・支援 □留意点、◎資料、◇評価
つかむ	①区内の工場や製品に関心をもつ。	<p>○大田区の工場と農家の分布図を見て気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家より、ずっと工場のほうが多い。 ・大田区にこんなにたくさんの工場があるとは初めて知った。 <p>○区内の工場数、分布を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3000軒もあるなんて驚いた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>問大田区の工場で作っているものは、どのようなものがあるだろうか。</p> </div> <p>○区内で作られている製品や工場の分布を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くだと、糞谷方面に工場がたくさんある。 ・多摩川や海沿い、大田区の南側に工場がたくさんある。 <p>○大田区にある有名な工場を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケットの部品工場 ・カーナビの工場 ・スマートフォンの部品工場 ・医療器具の工場 ・飛行機の部品工場 ・太陽光発電の部品工場 <p>○振り返りを書く。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大田区内には工場が多くあり、生活に役立つ製品が作られている。</p> </div>	<p>◎大田区の工場の分布図</p> <p>◎大田区の農家の分布図</p> <p>◇地域の工場の分布や特徴を理解することができている。 【知・技①】</p> <p>◎有名な工場の製品の資料</p>

<p>②身近な地域にある鳴島工業の製品が世界で通用している事実から、生産の仕方に疑問をもち、学習問題をつかむ。 (本時)</p>	<p>○工場の周りの地図や航空写真を見て、工場の位置を確かめる。 ・大鳥居の駅に近い。 ・家やマンションがたくさんある。</p> <p>○鳴島工業で作っているエレベーターのおもり枠の役割について知る。 ・おもり枠があるなんて知らなかった。</p> <p>○鳴島工業で作られた部品が使われている建物の写真を見て気付いたことを発表する。 ・スカイツリーに行ったときに乗ったよ。 ・こんなにたくさんの場所で使われているなんて驚いた。</p> <p>○原材料と製品の実物大の写真や模型を見て、疑問に思うことを発表しあい、学習問題を立てる。 ・平べったいものが、どうやったら製品になるんだろう。 ・とても大きくて重い製品だ。どんな機械を使っているのかな。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題 鳴島工業の人は、どのようにして、町の中で世界に通用するエレベーターの部品を作っているのだろうか。</p> </div>	<p>◎学区周辺図 □google earth で工場の位置を俯瞰する</p> <p>◎鳴島工業の外観の写真</p> <p>◎スケルトンエレベーターの写真と動画</p> <p>◎東京スカイツリー、あべのハルカス、ブルジュハリファの外観写真、エレベーターの動画</p> <p>◎発砲スチロールで作った模型（原料と製品）</p> <p>◇原料と製品を見比べ、世界に通用する製品を作っている事実から、学習問題をつかんでいる。 【態①】</p>
<p>③調べる内容や方法を明確にして、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○学習問題に対する予想を立てる。 ・機械で作っているのではないか。 ・すごい技があるのではないか。 ・音が漏れないように気を付けているのではないか。</p> <p>○学習問題の予想を整理して、学習計画を立てる。 ○学習計画を立てる。 <調べる内容> (作り方) ・どんな手順で作っているのか。 ・どのような機械があるか。 ・どのようにして組み立てるのか。 ・技が光るところはどこか。 (工夫) ・どのようなことに工夫しているか。 ・作るときに難しいところはどんなところか。 ・どんなことに気を付けて作っているのか。</p> <p><調べる方法> ・工場見学 ・インタビュー ・資料</p>	<p>◎ワークシートに書く。</p> <p>◎工場見学カード</p> <p>□インタビューの質問は、工場見学カードに書く。</p> <p>◇学習計画を立て、工場見学で調べたいことを明確にしている。 【態②】 (発言・ノート)</p>

		<p>○工場見学で見てきたいことや、質問をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような人が作っているか。 ・どのような機械を使って作っているのか。 ・おもり枠の作り方。 ・工場のすごいところはどこか。 <p>○振り返りを書く。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>鳴島工業に見学して、たくさんの工夫について調べたい。</p> </div>	
調 べ る	④⑤見学の視点に沿って工場見学やインタビューをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問い 鳴島工業では、どのようにして、おもり枠を作っているだろう。</p> </div> <p>○機械工場の見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもり枠の作り方 ・機械の種類 ・働く人の様子 ・工場のすごいところ <p>○工場働く人にインタビューをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫していることはどのようなことですか。 ・大変だと思うことはどのようなことですか。 ・なぜ、世界で使われる製品を作れることができるのか。 	<p>◎工場見学カード</p> <p>◇見学の視点に沿って、気づいたことやわかったことをノートにメモしている。</p> <p style="text-align: right;">【知・技②】 (工場カード・発言)</p>
	⑥おもり枠の生産工程を確認し、各工程の工夫について考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問い 工場では、どのような工夫をして作っていたのだろう。</p> </div> <p>○全体で話し合いながら工場の生産工程を確認と、それぞれの工程の工夫を確認する。(作る工程での工夫)</p> <p>原料⇒切断・穴あけ⇒折り曲げ⇒溶接⇒塗装⇒組み立て⇒完成⇒検品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料の鉄板は、何枚もしまえるように、保管用の棚があった。 ・穴あけでは、位置がずれないように、コンピューターに長さを設定して、なるべくゴミがでないようつめて作っていた。 ・溶接では、安全に気を付けるために、顔を守る道具を付けて、作業していた。 ・塗装では、さびないようにさび止めを塗ってから、色を塗っていた。 ・スケルトンのエレベーターには色をしっかり塗るみたい。 <p>○振り返りを書く。</p> <div style="border: 2px dotted black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おもり枠ができ上がるまでに、それぞれの工程でいろいろな工夫をしていた。</p> </div>	<p>◎内容ごとにパンフレットの1ページにまとめる。</p> <p>◇部品工場の生産過程を理解し、見学時に得た工夫した情報をまとめている。</p> <p style="text-align: right;">【知・技③】 (ワークシート)</p>

	<p>⑦働く人に思いや願いについて考える。</p>	<p>問い 工場で働く人は、どのような思いや願いをもって作っているのだろう。</p> <p>○どんな思いや願いをもって作っているか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けているのではないか。 ・世界で使ってもらえるものを作っているのではないか。 ・地域の人にやさしい工場ではないか。 <p>○工場の人インタビューのビデオを見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働いている人にけががないように、安全に気を付けている。 ・世界に通用する、お客さんに喜んでもらえるものを作りたい。 ・近くの住んでいる人に迷惑がかからないように、騒音に気を付けている。 ・においが外に出ないように、気を付けている。 ・振動が出ないようにしている。 <p>○工場の人の思いや願いを聞いて、考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる人と協力して、ものを作っているのはすごいと思う。 ・住んでいる人に優しい工場を目指している。 ・よりよい物を作ることを目標にして仕事をしている。 ・私たちも普段やっているような整理整頓が、安全を守るために必要だと考えた。 <p>○ふり返りを書く。</p> <p>工場で働く人は、地域のことも考えながら生産している。また、世界に誇れる製品を作って、お客さんに喜ばれることを願っている。</p>	<p>◎映像資料 (工場の話) □工場の配慮や意図を教師が聞き返す。</p> <p>◇工場の人のお客さんの工夫と働く人の思いを関連付けて考えている。 【知・技④】 (ワークシート)</p>
<p>まとめる</p>	<p>⑧学習問題に対する自分の考えをまとめ、工場のキャッチコピーを考える。</p>	<p>○これまでの学習問題を振り返って、鳴島工業の人々はどのようにして世界に通用するエレベーターを作っているのか、自分の考えをワークシートに書き、発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴島工業の人たちは、少ない人数で、世界で通用する安全性の高い部品を作ることができてすごい。 ・住んでいる周りの地域の人のことまで考えて、物作りをしていることに驚いた。 ・普段は目に見えないことがあまりない部品だけど、重要な部品が近くの工場で作られていることがうれしい。 ・自分達が使っているエレベータの部品が、すごく近いところで作られていることを家族に伝えた 	<p>◎エレベーターの写真やおもり枠の写真</p> <p>◇学習問題に対する自分の考えを整理し、工場の特徴を表現することができている。 【思・判・表②】 (ワークシート)</p>

	<p>いと思った。</p> <p>○今まで作ってきた工場のパンフレットに、工場のキャッチコピーを作って、パンフレットを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術がたくさんあり、人に優しい鳴島工業 ・世界一のエレベーターを作る鳴島工業 	
--	--	--

7 本時の指導（2／8時）

（1）本時のねらい

身近な地域にある鳴島工業の製品が、世界で通用している事実から、おもり枠の生産の仕方に疑問をもち、学習問題をつかむ。

（2）本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◎資料 □指導上の留意点 ◇評価
18	<p>○工場の周りの地図や航空写真を見て、工場の位置を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大鳥居の駅に近い。 ・大鳥居の交差点の近くだ。 ・家やマンションがたくさんある。 <p>○鳴島工業で作っているエレベーターのおもり枠の役割について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもり枠があるなんて知らなかった。 ・エレベーターには必ず付いている部品なんだ。 <p>○鳴島工業で作られた部品が使われている建物の写真を見て気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカイツリーに行ったときに乗ったよ。 ・こんなにたくさんの場所で使われているなんて驚いた。 	<p>◎goole earth で工場周辺の航空写真</p> <p>□学区周辺図で、鳴島工業の場所を確認させる。</p> <p>□工場の周りの様子から、ほとんど住宅地であることをおさえる。</p> <p>◎鳴島工業の外観写真</p> <p>◎地域にあるエレベーターの写真</p> <p>◎スケルトンエレベーターの映像</p> <p>◎エレベーター内部の図</p> <p>□エレベーターのバランスをとるのに大切な部品であることを理解させる。</p> <p>◎東京スカイツリー、あべのハルカス、ブルジュハリファの外観写真、エレベーターの動画</p>
12	<p>○原材料と製品の実物大の写真や模型を見て、疑問に思うことを発表しあい、学習問題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平べったいものが、どうやったら製品になるんだろう。 ・とても大きくて重い製品だ。どんな機械を使っているのかな。 	<p>◎原材料と完成品の実物大の模型</p> <p>□模型は重さを実感させるものにする。</p> <p>□作っている部品の大きさに着目させる。</p>
	<p>学習問題 鳴島工業の人は、どのようにして、町の中で世界に通用するエレベーターの部品を作っているのだろうか。</p>	
15	<p>○これまでの学習から、予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな機械で作っているのではないか。 ・道具をたくさん使っているのではないか。 ・時間をかけて作っているのではないか。 ・大勢の人で作っているのではないか。 ・音がもれないようにして作っているのではないか。 	<p>□これまでの大田区の工場や鳴島工業のことを想起させて、疑問に思ったことをたくさんワークシートに書かせる。</p> <p>◇身近な地域にある、世界に通用する製品を作っている事実から、学習問題をとらえている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)</p>

板書計画

くらしと工場

鳴島工業の
外観の写真

スカイツリー
の
写真

あべのハルカス
の写真

ブルジュハリア
の写真

なるしま工業→大鳥居駅北側
<まわりの様子>

- ・家やマンションが多い
- ・お店がある
- ・車が多い

} 町中

○なる島工業についての疑問

- ・どうやって作っているのか。
- ・どんな機械を使っているのか。
- ・こんなに大きいものをどうやって運ぶのか。

なる島工業の人は、どのようにして、町の中で、世界に通用するエレベーターの部品を作っているのだろうか。

<予想>

- ・大きな機械で作っているのではないか。
- ・道具をたくさん使っているのではないか。
- ・時間をかけて作っているのではないか。
- ・大ぜいの人で作っているのではないか。